

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成26年5月8日(2014.5.8)

【公開番号】特開2013-52831(P2013-52831A)

【公開日】平成25年3月21日(2013.3.21)

【年通号数】公開・登録公報2013-014

【出願番号】特願2011-193865(P2011-193865)

【国際特許分類】

B 6 2 J 17/00 (2006.01)

【F I】

B 6 2 J 17/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成26年3月25日(2014.3.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項2】

請求項1において、車体の前後方向に直交する横断面において、カウリングにおける前記ガイド溝が形成された部位の車幅方向外側端面が、前端部から後方に進むにつれて車幅方向外側に膨出し、

前記ガイド溝の車幅方向深さは、前記ガイド溝の前半部では、前端部から後方に進むにつれて大きくなり、前記グリップ前方近傍に設けられる最深部で最も深くなり、前記ガイド溝の後半部では、前記最深部から後方に進むにつれて小さくなり、

前記ガイド溝の最深部よりも後方に、内面が外側方下方に向くガイド面が形成されている鞍乗型車両。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項7】

請求項1から6のいずれか一項において、前記カウリングがさらに、外側へ膨出してライダーの下腿に走行風が当たるのを防止する膨出部を有する鞍乗型車両。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0046

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0046】

図4に示すように、ガイド溝60で案内された走行風Aの一部を後半部64に導くことで、走行風Aの一部をグリップ58から遠ざかる方向に案内できる。さらに、ガイド溝60の前半部62は前後方向に延びてあり、後ろ下がりとならないから、車両に鈍重なイメージを与えることがない。また、後半部64にガイド面68を有するから、グリップ58近傍において走行風Aの流れる向きを変えて車体外側へ案内することが可能となり、その結果、ライダーの腕に走行風Aが衝突するのを緩和することができる。